

24

埼玉医科大学総合医療センター

350-8550 川越市鴨田1981

TEL 049-228-3802(直通)

URL <http://www.kawagoe.saitama-med.ac.jp/resident/>



病院データ

※2024年4月～2025年3月の計数

病床数

1,053床

医師数

525人

指導医数

146人

外来患者数
(1日平均)

2,100人

入院患者数
(1日平均)

757人

救急外来
患者数
(1日平均)

-人

救急車搬送
患者数
(1日平均)

-人

心肺停止状態
搬送患者数
(1日平均)

-人

診療科目 消化器・肝臓内科／内分泌・糖尿病内科／血液内科／リウマチ・膠原病内科／心臓内科／呼吸器内科／腎・高血圧内科／脳神経内科／メンタルクリニック(精神科)／小児科・新生児科／消化管外科・一般外科／肝胆膵外科・小児外科／血管外科／プレストケア科／呼吸器外科／心臓血管外科／整形外科／形成外科・美容外科／脳神経外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科・産科／眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線科／歯科口腔外科／麻酔科・産科麻酔科／高度救命救急センター・救急科(ER)／総合診療内科(感染症科・感染制御科含む)／輸血・細胞治療部／病理部

病院の特徴

大学病院から離島まで

埼玉医科大学総合医療センターは、最先端の設備の中で平成19年には埼玉県よりドクターヘリ基地病院、平成28年には小児救命救急センターの指定を受けた地域基幹病院として高度な医療を提供し地域医療に貢献するのみならず、埼玉医科大学病院群の中では"Super General Hospital"と位置づけられ、診療のみならず大学病院として教育、研究に関しても優れた成果をあげています。高度救命救急センターを始め、外来化学療法センター、血液浄化センター、内視鏡センター、無菌室病棟などを新設し、病棟も順次改修工事を進めており、最新の設備で充実した研修を行うことができます。地域医療研修では、沖縄県立北部病院(同附属診療所を含む)での研修を2ヶ月間選択することができます。(往復の交通費及び宿泊費の補助があります。)小江戸川越は古い街並みを残す歴史のある落ち着いた都市です。都内から近いこともあり近年多くの観光客で賑わっています。伝統と都会的な新しい感覚が混じった川越で研修医としての2年間でスタートしてみませんか。

支援制度

見学補助／あり

住宅補助／あり

宿舎／あり

産休・育休
(研修医の取得実績)／あり

メッセージ



「大学病院でありながらcommon diseaseも経験できる」研修病院です

研修管理委員長
高橋 健夫
出身大学：群馬大学

埼玉医科大学総合医療センターは、歴史あふれる小江戸川越に位置する病床数1,053、1日外来患者数2,000名超、36診療科に総合周産期母子医療センター、高度救急救命センター及び小児救命救急センターを有し、がん・難病など多くの拠点病院となっている県内最大の医療施設です。診療とともに教育、研究にも力を入れており、初期臨床研修では大学病院としての機能を十二分に発揮した高度な先端医療から、common diseaseを中心とした地域医療まで幅広い疾患を学ぶことができます。一言で表すと「大学病院でありながらcommon diseaseも経験できる」研修病院です。私どもは、臨床研修の目標を「日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的診療能力を身につける」ことを基本とし、その上でさらなる専門教育を行っています。全診療科に研修指導責任者、指導医をおき、日常の悩みから効果的な研修などの適切なアドバイスを行い、研修目標が到達できるように支援しています。2年間の研修中には、人気の沖縄離島研修も組み込まれていますので、大学病院から離島までの幅広い医療の現場を体験することが可能です。私どもは研修医の先生方ひとりひとりを大切に育て、次世代のわが国の医療を担う人材を育てたいと考えています。多くの方々がわれわれの門戸を叩いてくれることを心より歓迎いたします。



将来の医師像をより鮮明なものにしていくのにとても良い環境です

研修医2年目
水谷 理沙
出身大学：順天堂大学

私は小児科志望だったので、地元が埼玉だったのもあり埼玉県で小児科が強い病院を探していました。

当院の小児科はNICUやPICUなど設備が整っており、初期研修のうちから幅広い症例の最先端医療に触れることができるところに魅力を感じました。新しい診療科を回り始める際に、何を重点的に学びたいかを聞いてくれる診療科が多いと感じています。例えば産婦人科であれば私は周産期医療を特に学びたかったので、産科症例が多いチームに配属されたり、循環器内科であれば心エコーを毎日当てさせてもらったりと各々が成長したい部分を重点的に学ぶことができる環境が整っていると感じています。私は二次救急と三次救急を両方診たいと思っていたので、本院で二次救急を、当院で三次救急を診ることができ、とても満足しています。当院は診療科も豊富で教育熱心な先生も多いので、将来の診療科が決まっている人にとってもそうでない人にとっても、将来の医師像をより鮮明なものにしていくのにとても良い環境だと思います。ぜひ一度見学に来て、雰囲気を見てみてください。

研修データ

初期研修医数
(1年目)

43人

初期研修医数
(2年目)

45人

昨年度
マッチング
受験者数

190人

募集人数

50人

当直日数
(月平均)

4日

当直
開始時期

1年目 1月

当直時の
勤務体制※
※研修医以外の当直人数

-人

主な出身大学 埼玉医科大学／北海道大学／弘前大学／群馬大学／山形大学／金沢医科大学／順天堂大学／獨協医科大学／国際医療福祉大学／信州大学／東邦大学／聖マリアンナ医科大学／セグド大学／東京医科大学／岩手医科大学／徳島大学／杏林大学／日本大学／東京女子医科大学／大阪医科薬科大学／福島県立医科大学

研修プログラムの特色

当院では病院の特性を活かし、日常的に遭遇するcommon diseaseから専門性の高い疾患のマネジメントまで幅広い研修ができるように工夫しています。研修プログラムは、研修医自身が自由にプログラムを組むことができる『埼玉医科大学3病院自由選択プログラム』、臨床研修と大学院コースを同時に学べる『研究マインド育成自由選択プログラム』、小児科・産婦人科等での研修を重視した『産婦人科・小児科重点研修プログラム』があります。4月の導入研修(オリエンテーションを含む)では、内科病棟を中心に診療に必要な基本的姿勢、手技を身につけます。内科・救急研修では、時間外外来を経験し、一次から三次まで幅広く救急医療に従事することでプライマリ・ケアに必要な基本的技能を修得することが可能です。また、2年目に高度救命救急センターでの研修を選択した場合には、希望があればドクターヘリに搭乗することも可能です。

研修スケジュール《年間研修予定(例)》												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入研修	内科						救急科		麻酔科		小児科
2年次	外科	産婦人科	精神科	地域医療	自由選択科							

専門研修プログラム(基幹施設)

内科

外科

小児科

産婦人科

精神科

皮膚科

眼科

耳鼻咽喉科

泌尿器科

整形外科

脳神経外科

形成外科

救急科

麻酔科

放射線科

リハビリテーション科

病理

臨床検査

総合診療科

研修医の処遇

- 給与

／ 1年目:36万円/月(基本給25万円／諸手当／賞与含む平均月額給与)
2年目:36万円/月(基本給25万円／諸手当／賞与含む平均月額給与)
- 諸手当

／ 日・当直手当、時間外手当、通勤手当、住宅手当、扶養手当
- 勤務時間

／ 8:30～17:30
- 保険

／ 日本私立学校振興・共済事業団、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険(個人加入、義務)
- 休暇

／ 原則、1月9休制、有給休暇(1年次:10日、2年次:11日)
- その他

／ 賞与:前年度実績50万円／年
白衣貸与(クリーニングは病院負担)、研修医個人専用の机・ロッカー、仮眠室・シャワールーム(男女別)、電子カルテ、共有PC(インターネット接続可能)



応募連絡先

臨床研修センター：若松 正子

TEL 049-228-3802(直通) Mail kensi@saitama-med.ac.jp

